

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



# 緑小だより

令和8年2月6日(金)発行 NO.34 留萌市立緑丘小学校



## ★ユニセフ募金のご案内

児童会本部が中心となってユニセフ募金に取り組みます。できる範囲で構いませんので、この機会に是非募金へのご協力をお願いいたします。

日時 2月9日(月)・10日(火)・12日(木) 午前8時10分～8時20分

場所 児童玄関1階中央階段付近

その他 ご協力いただいた募金は、集計後に郵便局を通して日本ユニセフ協会に振り込みます



## 一年生

インフルエンザの流行により、学年閉鎖となった1年生。今週久しぶりに全員集合となり、元気いっぱい声が教室に戻ってきてうれしく思います! 体育では「ボール運びおに」の学習をしています。5人で1チームになり、攻めと守りに分かれられます。攻めチームは、腰に付けたひもを鬼ゾーンの中にいる守りの人たちに取りられないようにゴールまで走り、残ったひもの数だけお宝をゲットできます。初めての試合では、鬼ゾーンの間をすばやくすり抜け、たくさんのお宝をゲットしている子もいました。10日の参観日には、チームで作戦を立て、どんな攻め方をするのか、乞うご期待です! 今年度最後の参観日となっています。子どもたちが楽しそうに活動する様子をぜひ、ご覧ください。お待ちしております!(文責: )



## 四年生

先週、2回目のスキー学習が行われ、今年度の活動を終わりました。天候にも恵まれ、風も穏やかで最高のコンディションの中、子どもたちは1回目の経験を生かして練習を重ね、技能を高めていました。顔に当たる風を心地よく感じながら、全身で滑る楽しさを味わうことができました。最後のフリータイムでは、友達2人以上で行動することを条件に、好きなコースを選んで楽しく滑走していました。来年はいよいよ暑寒別岳での学習です。更なる上達を期待しています。また、最近の様子としては、冬休み作品発表会に取り組みんだり、6年生を送る会で披露する「6年生の似顔絵」を頑張って描いたり、国語「熟語のでき方」の授業を公開して多くの先生方に見ていただいたりといろいろな行事がありました。どんな場面でも子どもたちの一生懸命さ、ひたむきさに感動させられます。(文責: )



## とくし

4年楓組です。3学期がスタートし、2月に突入しました。自立活動の「きらきらチャレンジ」では、サーキットの後にいつもみんなでゲームをしています。今までは5年生や6年生が司会の進行をしていていましたが、3学期からは来年の練習として4年生が司会進行を行いました。先週は国語の学習で考えた「みんなが楽しめる新スポーツ」として「風船バレー」をしました。低学年から高学年まで楽しめるようにルールを工夫しました。風船がどこに落ちるのか、はらはらどきどきしてみんなとても盛り上がりました。初めてのゲームは大成功だったと思います! 短い学期ですが、学年のまとめをしっかりと5年生に向けて準備を行っていききたいと思います。



## 二年生

生活科「つくってためして」の学習で、1年生を招いて「おもちゃ遊びパーティー」を開きました。最初のリハーサルでは、説明が足りなかったり、1年生をどう案内すればよいか迷ったりする姿も見られましたが、友達同士でアドバイスカードを送り合い、より良くしようと話し合いながら準備を進めてきました。迎えた本番では、1年生が笑顔で遊ぶ姿がたくさん見られ、にぎやかな雰囲気に包まれました。振り返りには、「1年生が『作ってみたい』と言ってくれてうれしかった」といった声がありました。なんと! 1年生から素敵なお手紙ももらい、「やってよかった〜!」と感激する子どもたちでした。自分たちのおもちゃを楽しんでもらうだけでなく、「どうしたら1年生が安心して楽しめるか」を考え、みんなで力を合わせて取り組む姿に、子どもたちの成長を感じた学習となりました。(文責: )



## 五年生

1月は、蔓延しているウイルスと戦いながらの日々でしたが、そんな中でも2日に行われた「新入生一日入学」では、しっかりとお兄さんお姉さんの役割を果たしました。「〇〇さん」と呼び、その子と手をつないで体育館へ。「上手だね」「やってみようか」など優しく声を掛けながら工作遊び。そしてルールを丁寧に説明し、しゃがんで目線を合わせてジャンケン列車。最後は、しっぽをつけたオニ役の5年生が、「残り1分!」を合図に、全員がちゃんとしっぽを取らせてあげた鬼ごっこ。ふれあいの細部に5年生の優しさが見える素敵な交流でした。新1年生をニコニコ笑顔にできる子どもたちを見て、一段と頼もしさが増しました♪(文責: )



## 三年生

社会では「昔の道具」について調べる学習を行いました。海のふるさと館に保管されている昔の道具をお借りして、廊下に並べると、子どもたちは「何これ」と興味津々。古くデリケートなものが多く、あまり手に取ることはできなかったのですが、一つ一ついろいろな方向から覗き込んでいました。最初は番傘や藁沓(わらぐつ)など、見た目では想像できるものを選ぶ子が多かったのですが、次第にパツと見ても分からないものに挑戦して調べる子も出ていました。貸していただいた中には手回し式のレコードプレーヤーもありました。授業を参観していた校長先生にご協力いただき、実際に動かして、音楽を聴くこともできました。思ったよりも大きな音でしたが、味のある曲を聴きながら調べ学習を行う優雅な時間となりました。今後調べた内容をもとに、全体でまとめをつくっていきます。(文責: )



## 六年生

今年度のスキー学習が終わりました。今年は気温こそ低かったものの天気には恵まれ、思う存分滑ることができました。1日日程なので体は疲れたかと思いますが、昼食にはおいしいお弁当を食べエネルギーを充電。午後からも元気にスキーを楽しんでいました。今、緑小では体力づくりも行っています。先日、休み時間にダンスをして体を動かしました。冬は運動不足になりがちですが積極的に運動して体力を付けられるよう声を掛けていきます。(文責: )



5年柏組です。3学期になり、6年生に向けてどんどん準備を進めています。全体の自立活動「キラキラタイム」では、6年生から司会をバトンタッチされ、2人で司会に挑戦しました。子どもたち全員の健康観察を行ったり、サーキットの準備の指示をしたりしました。お互いに責任感をもってきちんとできるか注意し合いながら取り組みました。堂々と前に立って話す姿から、最高学年になる覚悟が感じられました。6年生の卒業を祝う会も控えています。5年生としてできることを精一杯やってほしいと思います。

6年柏組です。冬休み作品発表会では、冬休み中に作成した作品を松組学級と一緒に発表しました。それぞれが一生懸命に取り組んだことが伝わる、素晴らしい作品ばかりでした。3学期に入り、卒業に向けた活動が増えてきました。学習の中では、「卒業までにこれくらい頑張ろう」という目標をもち、意欲的に取り組む姿が見られます。また、自分が将来になりたい姿や、挑戦してみたいことについて考える機会も増えてきました。卒業まで、チャレンジし続ける子どもたちの一生懸命な姿勢を、これからもしっかりとサポートしていききたいと思います。



# その「もうけ話」、本当に大丈夫？ 安全そうに見えるけど実は・・・

スマホを使っていると、かんたんにお金をかせげるという情報を見かけたり、メッセージが届いたりすることがあります。こうした情報の中には、関わったらあとで困ることになる「危ないもうけ話」がまじっています。

## ➤ 危ないもうけ話の「よくある始まり」

危ないもうけ話は、安心できそうな言葉を使ってみなさんに近づいてきます。たとえば、こんな言い方です。

- ✓ 「これ、ほんとに安全だから」
- ✓ 「むずかしいことは何もないよ」
- ✓ 「大人に言う必要はないよ」
- ✓ 「あなただけに声をかけているんだ」



はじめは「楽しそう」「簡単そう」と思わせることが相手の目的です。

## ➤ こんな言葉が出たら「赤信号」

次のようなことを言われたら、その時点で赤信号です。すぐにメッセージをストップして関わらないようにしましょう。

- 「今すぐ決めて」「今日中に返事して」 → 考える時間を与えないため
- 「他の人には内緒にして」 → 内緒にするのは悪いことだから
- 「顔写真や動画を送って」 → 個人情報を使ってあとで脅すため
- 「このあと別のアプリで話そう」 → 他の大人から見えなくするため

## ➤ おかしいなと感じたら、すぐに相談！

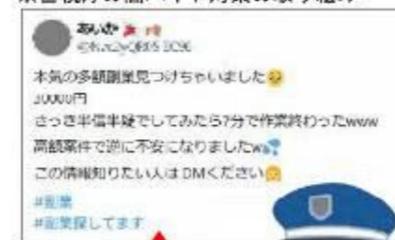
「危ないもうけ話」は「楽しそう」「簡単そう」と思わせる言葉であなたに近づいてきます。「自分は大丈夫！」と思っている人でも、気づかないうちにまきこまれていることがあります。今回紹介した言葉以外でも、あなたが少しでも「変だな」と思ったら、その場で一人で決めようとしなくて、まずはおうちの人や学校の先生など身近な信頼できる大人に相談しましょう。



# 子どもたちを闇バイトから 守るためのポイント

SNS上でアルバイトや副業の募集を見かけることはめずらしくありませんが、こうした募集には犯罪の実行者を募集する、いわゆる「闇バイト」も多く紛れています。報道によると、警視庁が2025年8月から11月までの4か月間に、X（旧Twitter）上の闇バイト募集の可能性がある投稿へ警告文を送った件数は約1万8,500件に達したそうです。子どもが巻き込まれないために、今一度、その特徴を親子で確認しておきましょう。

※警視庁の闇バイト対策の取り組み



## 闇バイト募集でよくある特徴

SNSでのアルバイトや副業の募集投稿のうち、次の特徴がある文言は闇バイトの可能性が高いので応募しないことが重要です。

- ・「ホワイト案件」「安全な副業」など、安全性を強調する文言
- ・「1時間で10万円」など、短時間で高収入をうたう文言
- ・「スキル不要」「簡単な作業のみ」など、仕事内容が不明瞭でハードルの低さを強調する文言
- ・「口座買取」「SIM買取」など、名義人以外の人に口座や携帯電話契約の売買、譲渡や貸与を持ちかける文言

## 応募してしまったあとの危険信号

闇バイトのなかには、その危険性を巧妙に隠して募集しているものがあります。安全で簡単そうに見えて軽い気持ちで応募してしまった場合でも、次のような要求が出てきたら危険な案件と考え、すぐにやり取りをやめ、信頼できる大人に相談するよう伝えてください。

- ・「人気の案件だから今すぐ決めて」など、判断を急かされたとき
- ・「他の人には秘密ね」など、秘密を強調して口止めされたとき
- ・「登録のために顔写真と家族の連絡先を送って」など、個人情報を求められたとき
- ・「以降の連絡はテレグラム（もしくはシグナル）で」など、特定のアプリへ誘導されたとき

## 家庭での指導

やり取りの中で少しでも不安を感じたら、子どもが自身の判断でやり取りをやめる、周りの大人に相談するという行動を取れるようにすることが大切なポイントになります。

「闇バイトには気を付けて」という抽象的な言葉で伝えるだけではなく、何が危険なのか具体的な事例を示すことで、子どもの危険意識を高め、適切に判断できるようにすることが大切です。それでも子どもが危険な闇バイトに関わってしまい、「申し込んでしまった」、「個人情報を渡してしまった」などの相談を受けた場合は、速やかに最寄りの警察署に相談してください。

また、仕事の意義や金銭の大切さなどを家庭内で話し合ってみましょう。

【相談】#9110 【緊急】110番

